

Information

コミュニケーションから零れ落ちる「意味」にフォーカス

「トランスレーションズ展 —「わかりあえなさ」を— わかりあおう」

会期：2020年10月16日（金）-2021年3月7日（日）

会場：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 1&2

東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン内

入場料：一般 1,200 円、大学生 800 円、高校生 500 円、
中学生以下無料

開館時間：10:00 - 19:00（入場は 18:30 まで）

※なお、会期、開館時間、入場方法は、状況により変更となる可能性があります。

他者とのコミュニケーションを支える「翻訳＝トランスレーション」。「コミュニケーションのデザイン」としての「翻訳」に焦点を当て、「解釈」や「誤解」の面白さを浮き彫りにする。出展作品は、言語と食文化から文化摩擦を考察する《Translation Zone》や、分子レベルでのコミュニケーションを探る《Human X Shark》など。「わかりあえなさ」を受け容れる余地を与えてくれる、新時代の特別展。

「トランスレーションズ展 —「わかりあえなさ」をわかりあおう」の詳細は
<http://www.2121designsight.jp/program/translations/>



展覧会メインビジュアル



©AINU MOSIR LLC/Booster Project

アイヌの少年が見せた成長と矜持

『アイヌモシリ』

2020年10月17日（土）より渋谷ユーススペースほか全国公開

監督：福永壮志

出演：下倉幹人、秋辺デボ、下倉絵美、三浦透子、
リリー・フランキー ほか

配給：太秦

北海道のアイヌコタンで暮らす少年カントは、父親の死を機にアイヌ文化と距離を置くようになる。高校進学のため故郷を離れることを決意した矢先、亡き父の友人デボに誘われたキャンプで、ある小熊の世話を任せられる。自然と共生するアイヌの精神や文化を目の当たりにし、カントは民族としてのアイデンティティを意識し始めるとともに、小熊への愛を徐々に深めていく。しかし、その飼育の目的が、熊送りの儀式イオマンテの復活にあることをカントは知らず——。アイデンティティに揺れる少年と現代のアイヌ民族の精神を瑞々しく描いた話題作。

「アイヌモシリ」上映の詳細は：<http://ainumosir-movie.jp/>